



令和 5 年度 履修証明プログラム・職業実践力育成プログラム

小規模病院等看護ブラッシュアッププログラム

受講生募集要項



公立大学法人山形県立保健医療大学

看護実践研究センター 地元ナース事業推進部会

## ■ 小規模病院等看護ブラッシュアッププログラムとは

本学が独自に山形県内の小規模病院・診療所、高齢者施設等に勤務する看護職を対象に行うプログラムです。

小規模病院等の看護職の方々が地元の医療福祉の担い手としての役割を再認識し、発展的な看護を実践する能力の向上を図ることを目的としています。

なお、このプログラムは「履修証明プログラム」及び「職業実践力育成プログラム」となっています。

### ◆ 履修証明プログラムとは

履修証明プログラムとは、社会人等の者を対象に大学等が、一定のまとまりのある学習プログラムを提供するプログラムです。プログラムを受講し修了要件を満たした者には、大学から学校教育法に基づく履修証明書を交付することができることとなっています。

本学では、履修証明プログラムとして、「小規模病院等看護ブラッシュアッププログラム」を実施しています。

### ◆ 職業実践力育成プログラムとは

文部科学大臣が認定した大学、大学院、短期大学及び高等専門学校（以下、「大学等」という。）における社会人や企業等のニーズに応じた、主に社会人を対象とした実践的・専門的なプログラムです。正規課程と60時間以上の体系的な教育で構成される履修証明プログラムが対象となっています。

## I 出願要件

大学入学資格を有する者又はこれと同等以上の学力を有すると認められる者で、次の要件のいずれかに該当する者としてします。

- ① 病床数が原則として200床未満の病院に勤務する看護師、保健師、助産師
- ② 有床又は無床の診療所に勤務する看護師、保健師、助産師
- ③ 高齢者施設又は障がい者施設に勤務する看護師、保健師、助産師
- ④ 訪問看護ステーション又は在宅ケア関連機関に勤務する看護師、保健師、助産師

\*上記の要件に該当しない場合でも、学長が認めた場合は受講が可能な場合がありますのでご相談ください。

## 2 募集定員

20名程度

## 3 出願受付期間

令和5年7月3日(月)～令和5年8月4日(金)

## 4 受講料

無料

## 5 出願書類

①履修証明プログラム受講願書兼履修者登録票(写真貼付)

記入方法は別紙をご参照ください。(ご不明な点はお問い合わせください。)

②受講単元申込書

## 6 出願方法

願書を提出する場合は、簡易書留とし、封筒の表に「ブラッシュアッププログラム願書在中」と朱書きし郵送してください。令和5年8月4日(金)消印有効です。

## 7 履修許可証の送付について

出願受付期間終了後、送付します。

## 8 履修証明書の交付

連続する2年以内に、カリキュラムの中から合計60時間以上を履修し、修了と判定された者に履修証明書を交付します。

## ◆ プログラムの概要

### 1 名称

小規模病院等看護ブラッシュアッププログラム

### 2 受講期間

令和5年8月29日(火)～令和5年11月28日(火)

\*開講式及びオリエンテーションは、講習会初日(8月29日)10時から行います。

\*閉講式は最終日(11月28日)の講習終了後に行います。

### 3 受講の方法

① 履修証明書の取得を目的としないで、単元をいくつか選択して受講することも可能です。

② 裏面のカリキュラムのICT欄に「○」のついている科目は、対面とオンラインを組み合わせたハイブリッド型授業です。これらの講義(演習は除く)は、ライブもしくは開講翌日以降に視聴することが可能です。

\* ICT (Information and Communication Technology)とは情報通信技術の総称です。

## ■ 願書の請求・提出先及び問い合わせ先

公立大学法人山形県立保健医療大学 看護実践研究センター

〒990-2212 山形県山形市上柳 260 番地

TEL / FAX:023-686-6614

E-mail:ns-cent@yachts.ac.jp

## 5 カリキュラム

ブラッシュアッププログラムは、次の4つの科目で構成されています。

科目名	単元名	単位	授業時間・担当講師名	開講日	ICT
看護の動向と課題	・看護の動向と課題	3	菅原京子・佐藤志保	8月29日(火)	○
地域密着連携	・地域医療連携の概要と現状	2	菅原京子	9月5日(火)	○
	・リハビリ職からみる地域医療連携	1	みゆき会病院 黒田昌宏		○
	・連携のためのスキル	3	NPO 法人まちづくり学校 稲村理紗	9月12日(火)	/
	・地域包括ケアシステムの現状と課題 MSW が果たす役割	1	訪問診療クリニックやまがた 五十嵐絵美	9月19日(火)	○
	・地域包括ケアシステムの現状と課題 コミュニティが果たす役割	1	地域包括ケア総合推進センター 東海林かおり		○
	・事例から地域包括ケアシステムを考える	1	五十嵐絵美・東海林かおり 高橋直美		/
根拠に基づく看護 *演習あり	・皮膚ケアの看護	3	山形大学医学部看護学科 片岡ひとみ	9月26日(火)	○
	・摂食・嚥下困難を抱える患者の看護	3	言語聴覚士 梁瀬文子	10月3日(火)	○
	・生活習慣病を抱える高齢患者の看護	3	佐藤志保	10月10日(火)	○
	・フィジカルアセスメント 呼吸器	1	佐藤志保	10月17日(火)	/
	・フィジカルアセスメント 循環器	1	齋藤愛依		/
	・フィジカルアセスメント 腹部(消化器系)	1	高橋直美		/
	・終末期にある患者の看護	3	高橋直美	10月24日(火)	/
看護研究の基礎	・看護研究の進め方	3	佐藤志保	10月31日(火)	/
	・事例研究の基礎	1	佐藤志保	11月7日(火)	○
	・量的研究の基礎	1	齋藤愛依		○
	・質的研究の基礎	1	今野浩之		○
	・倫理的配慮	1	遠藤恵子	11月14日(火)	○
	・研究発表の意義と方法	1	高橋直美		○
	・研究計画書の作成方法	1	鈴木龍生		○
	・研究計画書の作成	3	菅原京子・鈴木育子・佐藤志保	11月22日(水)	/
	・研究計画書の発表準備	2	菅原京子・鈴木育子・佐藤志保	11月28日(火)	/
・研究計画書の発表	1	/			

網掛け：本学教員

\* 1日3時限の開講になります。(Ⅰ:10:30-12:00 Ⅱ:13:00-14:30 Ⅲ:14:40-16:10)

\* ICT欄に「○」のついている科目は、対面とオンラインを組み合わせたハイブリッド型授業です。

これらの講義(演習は除く)は、ライブもしくは開講翌日以降に視聴することが可能です。

\* プログラムの内容およびカリキュラムツリーは、山形県立保健医療大学 看護実践研究センターのホームページ(<http://www.yachts.ac.jp/>)にも掲載しています。